

令和6年度第1回「千歳市子ども・子育て会議」会議録 【公表用一要約版】

日 時	令和6年5月30日（木）9時15分～10時30分	
会 場	千歳市役所第2庁舎 会議室5・6	
出 席 者	委員 ※50音順	市（事務局）
	会 長 長谷川 誠	こども福祉部長 浅井 雅樹
	委 員 伊崎 亜美	こども福祉部次長 古島 知明
	委 員 石岡 くに子	こども政策課長 黒田 大
	委 員 太田 智逸	こども政策係長 大野 晃史
	委 員 岡田 里枝	こども政策係主任 本間 公博
	委 員 押見 尚子	こども政策係主任 池内 真鶴
	委 員 佐々木 朋美	保育係長 濱元 大輔
	委 員 佐野 瑠美	給付係長 佐々木 拓人
	委 員 高橋 卓也	市（関係部署）
	委 員 南家 愛理	保健福祉部母子保健課長 金川 律子
	委 員 西 博康	こども家庭課長 前田 陽子
	委 員 橋元 久人	子育て総合支援センター長 細貝 貴生 児童発達支援センター長 松本 純子 教）企画総務課長 井戸川 邦彦
	オブザーバー （株式会社 サーベイリサーチセンター北海道事務所）	
	企画課長 林 梢子 企画課 岡田 滉平	
事 務 局	こども福祉部こども政策課	
会議の公開	公開	
傍 聴 者 数	1名（北海道新聞記者）	

1 開会

委員数15人中12名の出席につき、会議が定足数（委員の半数以上の出席）を満たしていることを確認。

2 部長あいさつ

3 議事等

(1) 審議事項①（仮称）千歳市こども計画骨子（案）について

【こども政策課長から、資料1について説明】

（会長）

ありがとうございました。皆さんご質問・ご意見はありませんか。

私から質問なのですが、もしこども計画とすると、若者に関する施策や対策は今もありますが、それらを計画の中に重点的に盛り込むイメージと私は理解したのですが、間違いないでしょうか。
(黒田課長)

繰り返しになりますが、別紙1の左の各計画の中に茶色字の「子ども・若者計画」は、法律上努力義務、策定することに努めなさいとされており、こどもについては良いのですが、若者をどう捉えるかがとても難しく感じています。法律上は若者については特に定義がされておきませんが、こども大綱の中では、若者というのは思春期と青年期を指すとしております。青年期とはいつまでか、というと、こども大綱上ではおおよそ対象年齢としては18歳から30歳未満、施策によっては40歳までを含むとされており、こどもと若者は重なり合う部分はあります。この青年期に係る各種施策を本市としても進めているところではありますけれども、この計画の中で、国が言うように子ども・若者計画に位置付ける形で、こども計画の中で一体的に定める必要があるかという点については、北海道が今後示す予定のこども計画(案)を勘案するなど、様々な課題があり検討している状況であります。

(会長)

まだ、国や北海道の動きが確定していないところなので、流動的かと思いますが、今回は方向性や概念を確認するような位置づけだと思うのですが、何かご質問等ございますか。

(A委員)

私も、こどもと若者をどのように分けて計画の中で合体させていくか考えた時に、例えば別紙の施策体系(案)にある「特別な配慮を要するこども・若者への支援充実」について年齢やライフステージで分けるのは少し難しいのではないのかと思いました。

(黒田課長)

今のご意見に対して明確な答えを持ち合わせていないというのが正直なところで、どこまでをこども・若者と捉えるか、計画の中で位置付けるかがハードルになると考えております。参考までに申しますと、「こども」についても、法令上は年齢的な定義は設けていません。こどもというと生まれてからおおよそ18歳ころまでを考えているのですが、国が言っている「こども」というのは、発達の段階に応じてそれぞれ違うため、一律一概に年齢を設けて定義しないとしています。ただし、今申し上げた通り、一般論的には「こども」はおおよそ思春期までと分かるのですが、若者までとなりますと、先程申し上げた対象年齢、年齢層になるものですから、今、委員から頂いた内容も含め難しいところではありますが、急ぎ事務局としても詰めて議論を進めているところでもあります。

(会長)

その他にありますでしょうか。私の勝手な感覚でいうと、恐らく今回言いたいことは、今までの子ども・子育て支援でいうところのこどもはもちろん「こども」、子育て支援というのは子育てに関わる保護者で、今回国が言っている若者は、これから子育てをしようと思う予備軍である、そのあたりを何とかサポートして少子化対策につなげていくということかと思います。

(黒田課長)

仰る通り、同じように認識しております。

(会長)

そうすると、非常に幅広くなってしまい、計画付けが大変なのかと思います。策定スケジュールに関しては、この後の議事が出るので、いつぐらいに計画が見えてくるのか、この後の議事で

ご紹介いただけたと思います。どこで議事をまとめればいいのか難しいところですが、大枠の考え方などで確認、その他あれば、是非お出しいただければと思います。

よろしいでしょうか。この後、関連した議事が2つほどありますので、その中で気が付いたことがあれば、次の議事の中でもご意見としてお出しいただければと思います。

それでは、とりあえずこの件につきましては、今の段階では今回での意見として、事務局の議案通りすすめていただく、ということで進めさせていただきたいと思いますので、よろしいでしょうか。

(1) 審議事項①について事務局提案どおり可決となり審議終了。

(1) 審議事項② (仮称) 千歳市こども計画策定に係るこども・若者意見の聴取について

【大野係長から、資料2、資料2別紙(非公開資料)について説明】

(会長)

ありがとうございました。皆さんご質問・ご意見はありませんか。

(A委員)

小学生、中学生よりは、高校生、大学生辺りの層がどういう風に考えているのかすごく興味深く思い見させてもらいました。この意見を聴取する場所、団体、ターゲットの選び方というのは何かあったのですか。

(大野係長)

はい。こどもをメインターゲットとのことで、小中高大学生をまず考えました。色々な対象、方法があると思いますが、その中で事務局がアプローチしやすいところに選定させていただきました。あまり広い範囲よりかは、主に10名前後ぐらいで集まっていたらご意見をいただくという方式をとり、その他の部分については、子ども・若者向けパブリックコメントで広く周知してご意見をいただく、という形で考えているところであります。

(A委員)

この意見が後々反映されていくと説明されていたので、違う層もという考え方もあるかと思えます。高校生だと、同じ高校の同じ部活の6名の意見が、千歳の若者の意見として反映されていくと考えるのならば、例えば街角インタビュー等、もう少しランダムに聴いていく方法も良いのではないかと思います。

(黒田課長)

ありがとうございます。以前の会議で「こどもからの意見をどのように拾い上げていくかが課題」であると申し上げました。理想としては、全世代にアンケート調査や、委員からご意見があった街角インタビューの実施等ができればよいと思いますが、テーマ設定や対象を広げすぎることによる整理の難しさなどがあったというのが実情でございます。

ただ、今後の国の方向性が変わらなければ、引き続き、こども・若者の社会参加は求められていくと思いますので、現状、試行錯誤の中ではありますが、今回はスモールスタートで進めているところとして、その手法は適切か、また、別に検討の余地はないか、委員から頂いたご意見も踏まえまして、今後反映できればと考えております。

(会長)

その他何かございませんか。

(B委員)

会議の主旨とずれるかもしれませんが、高校生の「男性の育児休業について」のテーマで、もし、今後何かの機会に「男性の育児休業について」アンケート、ワークショップ等取る場合には、全員男子にして女子を入れないでアンケートを取ったらいいのではないのでしょうか。理由としては、女性がいれば本音が出せない、女の子に嫌われないような意見が出やすいかと思うので、男子だけだったらより忌憚のない意見で本音も出て、そこで出た意見の方がより男性の育児休業が広まらない本当の理由や、問題点が見つかりやすいと思いました。もしどこかで、「男性の育児休業について」こういった取り組みがあったら、男子だけで話し合いの場を設けるとちょっと違ったアプローチができるかなと思っています。

(黒田課長)

ありがとうございます。今回は先ほど担当者が申しました意図、理由で男性の育児休業をテーマに高校生からご意見を賜ったのですけれども、今の委員のご意見は、このテーマに限った話しではなく、その他のテーマについても、場合によっては個別に聞くべき、アンケート等団体の中ではなく個別に聞いていく、又は属性で分けるなど、様々あるかと思ったところでありますので、今後活かしていきたいと思います。

(会長)

ありがとうございます。そのほかございませんか。

(C委員)

高校生から聴取した育児休暇取得のメリット、デメリットが書いてありますが、これを踏まえてどの様な政策ができていくのでしょうか。

(黒田課長)

これから、例えば育児休業にあたっては本市で何か特別な具体的な施策を出すというものではないと理解しております。育児休暇取得については国で関係法令を整備しておりますので、私たち自身で申しますと、自治体職員自らの職場について、また、市内各企業、団体においても、これまで以上に男性の育児休暇取得向上の周知啓発を図っていくことがメインになるのかと考えております。それにあたって、今回高校生から頂いた意見を、一つのヒントなり補足又は形として生かすことができるか、そういった形、取組になるかと思っております。

(会長)

ありがとうございます。そのほかご意見等ございませんか。

(D委員)

スモールスタートでも、例えば市役所の新卒や1~3年目の方にアンケートを取って無記名で記入してもらう方法等、近場の協力的な人を探して色々な意見を聴いた方がいいと思います。協力してくれやすい人からたくさん意見を取るのであれば、二十歳の集いの子たちは、就職している子、学生の子、色々な層に分かれています。英語クラブの子や、科大の子はそれぞれ層が一緒なので、色々なタイプの子たちがいるところで意見を聴けば考え方も広がっていくと思います。

(黒田課長)

ありがとうございます。今、委員のお話を伺っていて仰る通りだと思っています。理想だと思いますし、そこを目指すべきだと思います。その上で具体的な手法を考えていく時には、また、個別に様々あると思うのですが、基本的な考え方としては、私どもも共有しているところでありますので、これからの課題として受け止めさせていただきたいと思っています。

(会長)

ほか、よろしいでしょうか。私も若者と言われると小中高大学生とってしまうのですが、今お話があった市役所ですとか、市内の事業所の若手の社員の皆さんがどのように考えているのかという視点もあってよいかと、話しを伺いながら思っておりました。

それでは、まだもしかしたらあるかもしれませんが、関連議題もありますのでそこでもお話を出していただければと思います。

事務局の提案通りに進めさせていただくということでよろしいでしょうか。

(1) 審議事項②について事務局提案どおり可決となり審議終了。

(1) 審議事項③(仮称)千歳市こども計画策定にスケジュールについて

【大野係長から、資料3について説明】

(会長)

ありがとうございます。何か、ご意見ご質問はありますでしょうか。

これは、このまま進めていただくということになると思いますけど、子ども・子育て会議でも途中経過を聞かせていただく機会もあるかと思しますので、その際にもご議論等宜しく願います。

事務局の提案通りに進めさせていただくということでよろしいでしょうか。

(1) 審議事項③について事務局提案どおり可決となり審議終了。

(2) 報告事項①千歳市子ども・子育て支援アンケート最終結果について

【大野係長から、資料4について説明】

(会長)

ありがとうございます。皆さんご質問・ご意見はありませんか。

個人的には第2章で千歳市の課題としてまとめていただいているので、ピンポイントに課題を見ることができ、ここをみて、アンケートの数字をみると分かりやすくなると思います。ご確認いただいて、何かあれば事務局にご連絡いただければと思います。

その他ご意見・ご質問はありますか。無ければ、議事(2)①を報告済みとさせていただきます。

(2) 報告事項②千歳市障がい者計画・第7期千歳市障がい福祉計画・第3期千歳市障がい児福祉計画の策定について

【松本センター長から、資料5について説明】

(会長)

ありがとうございました。皆さんご質問・ご意見はありませんか。無ければ、議事(2)②を報告済みとさせていただきます。

(2) 報告事項③医療的ケアが必要なお子さんとその家族のための支援ガイドブック【千歳市版の作成について

【松本センター長から、資料6について説明】

(会長)

ありがとうございました。皆さんご質問・ご意見はありませんか。無ければ、議事(2)③を報告済みとさせていただきます。

(2) 報告事項④ちとせ児童発達支援センターはるの開設について

【松本センター長から、資料7について説明】

(会長)

ありがとうございました。皆さんご質問・ご意見はありませんか。無ければ、議事(2)④を報告済みとさせていただきます。

(2) 報告事項⑤千歳市児童発達支援センターについて

【松本センター長から、資料8について説明】

(会長)

ありがとうございました。皆さんご質問・ご意見はありませんか。無ければ、議事(2)⑤を報告済みとさせていただきます。

それでは議事進行につきましては、これで終了とさせていただきます。

4 閉会